

北部市街地

まちなか交通通信

この通信は、北部市街地の交通対策の検討について、地域の皆さまにお知らせするものです。

第18号

第18回連絡協議会を開催

令和2年1月22日(水)川越市役所で、連絡協議会を開催しました。

今回は、前回実施した複数の交通対策案へのアンケート調査結果を報告するとともに、今後のスケジュールを提示しました。



1 東京大学との共同研究実施等の報告

① 東京大学との共同研究実施

⇒比較検討する複数の交通対策案が、周辺交通に与える影響（交通流の変化や各交差点の渋滞状況等）をデータ分析し妥当性等を検証するため、共同研究による交通シミュレーションの作成に着手。

② 第2回道路パトロールの実施結果

⇒令和元年12月に、一番街周辺道路における看板等の不正占用状態解消のため道路パトロールを実施し、違反件数は、前回調査（平成31年1月実施）の30件に比べ、27件と若干減少。

2 アンケート調査結果の報告

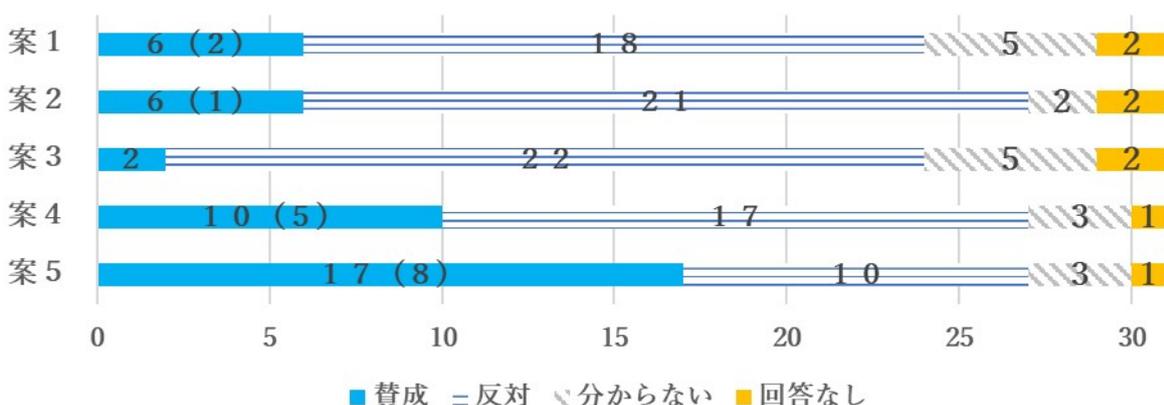
アンケートは、市が提案した以下の「複数の交通対策案（案1～5）」に対する賛否や実施条件（頻度、曜日、時間帯）等について、各自治会の情報連絡員を対象に実施したものです。

なお、この調査結果は「複数の交通対策案」について、今後、更なる検討を進めるために使用するものであり、これにより交通対策案を決定するものではありません。

- 【案1】中央通り 南行き一方通行（札の辻→連雀町） 東京川越線 北行き一方通行（松江町→市役所前）
 【案2】一番街 南行き一方通行（札の辻→仲町） 東京川越線 北行き一方通行（教会前→市役所前）
 【案3】中央通り 南行き一方通行（札の辻→連雀町）
 【案4】一番街 南行き一方通行（札の辻→仲町）
 【案5】一番街 歩行者用道路（札の辻→仲町）（土・日・休日の時間帯規制）

※各案の規制内容イメージ図は、市ホームページに掲載する「まちなか交通通信第17号」をご覧ください。

案1～5の賛否＜全回答数31＞



※全回答数が21（アンケート対象の自治会数）より多くなっているのは、一部自治会から複数回答があったためです。また、グラフ中「賛成」の（ ）内の数字は、条件付きの賛成です。

■案1～5の全体結果 ※賛成は、条件付き賛成を含む。

案1	<ul style="list-style-type: none"> ●賛否は、「反対」が18と最も多く、全回答数の約60%を占める。その理由で多いのが、「迂回車両による中央通り線、東京川越線、市内循環線の渋滞」である。 ●「賛成」は6（約20%）であり、望ましい「頻度」「曜日」「時間帯」は以下の傾向が確認できる。 「頻度」→「<u>通年</u>」が50%を占め、残りは「隔週・季節限定等」の条件緩和実施である。 「曜日」→「<u>土・日・祝日</u>」「<u>全ての曜日</u>」が約70%を占め、その約80%が頻度は「<u>通年</u>」である。 「時間帯」→意見が割れたが、共通するのは12～15時の実施が全体の約70%を占めていることである。
案2	<ul style="list-style-type: none"> ●賛否は、「反対」が21と最も多く、全回答数の約70%を占める。その理由で多いのが、「迂回車両による中央通り線、東京川越線、市内循環線等の渋滞」「<u>渋滞懸念に対する東西南北の道路整備の必要性</u>」である。 ●「賛成」は6（約20%）であり、望ましい「頻度」「曜日」「時間帯」は以下の傾向が確認できる。 「頻度」→「<u>通年</u>」が約70%を占め、残りは「隔週」等である。 「曜日」→「<u>全ての曜日</u>」「<u>土・日・祝日</u>」が約70%を占め、その約80%が頻度は「<u>通年</u>」である。 「時間帯」→意見が割れたが、共通するのは10～16時の実施が全体の約80%を占めていることである。
案3	<ul style="list-style-type: none"> ●賛否は、案1～5の中で「反対」が22と最も多く、全回答数の約70%を占める。その理由で多いのが、「迂回車両による中央通り線、東京川越線の渋滞」「<u>渋滞懸念に対する東西南北の道路整備の必要性</u>」である。 ●「賛成」は、2（約7%）と案1～5の中で最も少なかった。
案4	<ul style="list-style-type: none"> ●賛否は、「反対」が17と最も多く、全回答数の約60%を占める。その理由で多いのが、「迂回車両による中央通り線、東京川越線等の渋滞」「<u>渋滞懸念に対する東西南北の道路整備の必要性</u>」である。 ●「賛成」10（約30%）のうち、条件付きが5で、賛成理由で最も多いのが「<u>歩行者の安全性確保</u>」である。 ●賛成の場合、望ましい「頻度」「曜日」「時間帯」は以下の傾向が確認できる。 「頻度」→「<u>通年</u>」が約80%を占め、残りは「隔週」と「<u>季節限定</u>」が半々である。 「曜日」→「<u>土・日・祝日</u>」「<u>全ての曜日</u>」が50%を占め、その約60%が頻度は「<u>通年</u>」である。 「時間帯」→意見が割れたが、共通するのは12～15時の実施が全体の60%を占めていることである。
案5	<ul style="list-style-type: none"> ●賛否は、賛成（条件付きを含む）が案の中で17と最も多く、全回答数の約60%を占める。その理由で多いのが「<u>観光客を含めた歩行者の安全性確保</u>」である。 ●「条件あり」賛成8のうち、回答が多かったのが、「<u>大きなイベントがある日曜・祝日等に限定したり、催事回数を増やすなど試験的に進める</u>」という意見であった。 ●「反対」は約30%であり、反対理由は「<u>渋滞懸念</u>」「<u>駐車場の確保</u>」「<u>住民の利便性が失われる</u>」等である。 ●賛成の場合、望ましい「頻度」「曜日」「時間帯」は以下の傾向が確認できる。 「頻度」→「<u>通年</u>」が約40%を占め、「<u>季節限定</u>」「<u>月1回</u>」の条件緩和実施が約30%である。 「曜日」→「<u>全ての曜日</u>」「<u>土日祝日</u>」「<u>日・祝日</u>」が約80%を占め、その約50%が頻度は「<u>通年</u>」である。 「時間帯」→意見が割れたが、共通するのは12～15時の実施が全体の約80%を占めていることである。

3 今後のスケジュール

■令和2年3月 <第19回連絡協議会>

【主な内容】北環状線開通後交通量調査結果の報告、アンケート結果を踏まえた対策案の提示

■令和2年度以降 <第20回連絡協議会以降>

【主な内容】アンケート結果を参考にしながら、東京大学との共同研究による仮想実験を行い、交通対策案の条件設定（頻度、曜日等）等を検討していく。

4 主な意見

- 松江町交差点改良事業の進捗状況を明らかにしてほしい。
- 松江町交差点も大事だが、蔵の町に何らかの対策を考えていくことを両面でやってほしい。
- 一番街を歩行者天国にすれば、東京川越線、松江町交差点が渋滞する。
- 仲町交差点について、歩車分離式信号を含めた交差点の在り方を検討してほしい。

＝ 次回の協議会は ＝

令和2年3月下旬に開催し、アンケート結果を踏まえた複数の交通対策案等を提示予定です。

お問い合わせ先

北部市街地自治会交通対策連絡協議会事務局

川越市 都市計画部 交通政策課

〒350-8601 川越市元町1-3-1 電話：049-224-5519（直通） FAX：049-225-9800

※「まちなか交通通信」は市ホームページでも、ご覧いただけます。